

* ぐんま女性活躍大応援団

ぐんま学生会議 成果発表

～より良いワーク・ライフ・バランスをめざして～

群馬県立女子大学

一関華子、佐藤由理、辻穂奈実、
都丸結衣、富沢胡桃、余夢賛

群馬大学

青木凌太、井坂茉由、内田和志、
岡部愛美、田村佳奈、徳江愛



* ぐんま女性活躍大応援団

ぐんま学生会議 成果発表

～より良いワーク・ライフ・バランスをめざして～

共愛学園前橋国際大学

新井汐音、木村百花、佐藤優菜、
星野萌花、吉沢達大

高崎経済大学

赤岡晶穂、新井宙、新井優太、
伊藤一茂、柏木和真、鯨拓哉、
武井美沙子、橋本理那



ぐんま学生会議の概要

目的

- ワークライフバランスを考えるきっかけとする。
- 女性の活躍や男女の働き方について見直す。

学生の活動

- 夏季休暇中に希望する企業に訪問し、インタビューをする。
まとめた成果を発表する。



事業所インタビュー 内容

制度

各企業ごとの独自の休暇制度などについて、インタビューをする。

支援

独自の休暇制度を提供し、子育てや家事と仕事の両立を支援する。

意識

上司や同期の方々の理解、休暇制度についての柔軟な認識をもつ。

ロールモデルインタビュー（群馬県立女子大学）

📁 **訪問先**：日本政策金融公庫 前橋支店

📁 **取材相手**：

国民生活事業 融資第一課

井上 千絵さん

支店長兼農林水産事業統轄

田村 佳隆さん

📁 **仕事内容**：

お客さんからの融資相談の
窓口対応



ロールモデルインタビュー（群馬県立女子大学）

📖 印象に残った回答

Q. 御社には、社員のワークライフバランスの推進に関する独自の特別な仕組みや制度はありますか。

A. フレックスタイムや時短制などの社員のワークライフバランスを整えるため制度を導入しています。

Q. 御社のワークライフバランスを整える制度について、今後見直していきたいポイントなどがあれば教えてください。

A. 妊娠をしてから産休に入るまでの8か月間で、つわりを含めて体調を崩すことがあるため、それらを考慮してくれる制度があると女性にとってはうれしいです。

ロールモデルインタビュー（群馬県立女子大学）

まとめ

充実した制度・復職支援

→ 活用のしやすさ

→ 仕事と家庭との両立のしやすさ

雰囲気の良い職場

→ 風通しの良い上司・部下関係

→ 制度の使いやすさ



感想

制度が充実しても、それを積極的に使うことのできる環境の重要性を痛感しました。そのためには日ごろから職場だけでなく家庭での生活を共にする家族とのコミュニケーションもあってこそ、仕事と生活を両立させることのできる環境を作り出すことができるのではないかと思います。

ロールモデルインタビュー（群馬県立女子大学）

📁 **訪問先**：カネコ種苗株式会社

📁 **取材相手**：
松原 浩代さん 泉館 美樹さん

📁 **仕事内容**：
松原さん
社長の秘書業務
泉館さん
種の出荷・営業に
関する業務等



ロールモデルインタビュー（群馬県立女子大学）

印象に残った回答

Q. 仕事の継続や仕事と生活を両立するうえで、職場の方々がサポートを受けるためには、どのような努力が必要だとお考えですか？

A. これからは育児だけではなく、介護、本人の病気など、長期の休みを取ることもあり得ると思います。そのため、業務が継続できるような体制づくりと、何でも相談できるような環境づくりに向けての努力が必要と考えられます。

Q. 御社の育児や出産などのワークバランスを整える制度について、今後見直していきたいポイントがあれば教えてください。

A. 現在、基本的に業務は社内で行っておりますが、将来は在宅勤務等、多様化する業務形態に柔軟に対応していけるようなシステム作りも検討していければよいと思います。

ロールモデルインタビュー（群馬県立女子大学）

まとめ

仕事と生活の両立に必要なのは
社員同士のコミュニケーション
困ったこともお互い言えるような人間関係作り
仕事と生活、どちらもがんばりすぎないこと

感想

自分たちの生活も大切にしながら職場の同僚と助け合うことによって仕事と生活の両立ができることが印象的でした。またこれから就職活動を行う際に、ワークライフバランスを企業選びの一つの基準にしたいと考えています。

ロールモデルインタビュー（群馬大学）

📁 **訪問先**：株式会社 ミツバ

📁 **取材相手**：

技術開発部 技術開発第一課
清水 ともえさん

📁 **仕事内容**：

モータ開発支援のための強度、
磁場、音のCAE解析



ロールモデルインタビュー（群馬大学）

印象に残った回答

Q. 御社には、社員のワークライフバランスの推進に関する独自の特徴的な取組や制度はありますか。

A. 時短勤務、おひさまガーデン、リバティ休、SL等があります。

Q. 仕事と生活の両立にあたって工夫していることはありますか。

A. 家族に協力してもらい、こども達にもできることは自分でやってもらっています。また無理をせず、完璧を求めないようにしています。

ロールモデルインタビュー（群馬大学）

まとめ

制度の充実ももちろん重要だが、家族や親戚、ママ友等の“周囲のサポート”や、無理をしない、完璧を求めない等の“自分自身の考え方の工夫”も大切である。

感想

工業系の企業でも、積極的に女性が働きやすい制度を取り入れていることがわかり、理工系学生である私たちも、将来仕事と生活の両立がしやすいだろうと感じた。



ロールモデルインタビュー(群馬大学)

📁 **訪問先:** 株式会社両毛システムズ

📁 **取材相手:**

赤尾 晴樹さん

📁 **仕事内容:**

公共事業部

プロジェクトマネージャー



ロールモデルインタビュー（群馬大学）

📖 印象に残った回答

Q.仕事と生活の両立にあたって工夫していることはありますか？

A. 周囲を意識した行動、仕事の決断・行動のスピードです

Q.育児休暇習得についてパートナー・周囲の人の反応は？

A. パートナー・・・一人で子供を育てるという心配
→賛成

職場・・・事前に相談、休業中は協力してもらった

ロールモデルインタビュー（群馬大学）

まとめ

育児休暇を取るときは、周りの人と事前に相談するなど、周囲に気を配ることも必要。

男性の育児参加を促すには、本人の行動のほかにも、周囲の協力が不可欠。

感想

実際に育休取得者の話を聞くことができてよかった。

周りとの協力が重要であると改めて感じた。



ロールモデルインタビュー(共愛学園前橋国際大学)

📖 **訪問先:** 株式会社 ナカダイ

📖 **取材相手:**

コンサルティング事業部

リマーケティング課リーダー

福崎 幸乃さん 石原 洋子さん 中島 純子さん

📖 **仕事内容:**

誰かが不要と判断した“モノ”について、リマーケティングビジネスを展開

ロールモデルインタビュー（共愛学園前橋国際大学）

📖 印象に残った回答

Q. ワークライフバランスに関する独自の取り組みはございますか？

A. 育児休暇（年3日）・看護休暇（年5日）・長期休暇を連続9日間

Q. 休暇をとったことによる利点・欠点

A. 利点：自分を見つめ直すことができる。兄弟がいるとしたら、上の子供たちと接する時間ができる。
欠点：仕事内容が進み、おいていかれてしまう。

ロールモデルインタビュー（共愛学園前橋国際大学）

まとめ

会社独自の制度を社員が利用することにより、ワークライフバランスが保てるようになっていた。

感想

子供の行事に参加できるような有休があったり、子供との時間を大切にできる長期休暇があるという職場環境に魅力を感じた。何年か後に就職する際には、このような点にも注目していきたいと思っている。



ロールモデルインタビュー(共愛学園前橋国際大学)

📖 **訪問先:** エアムーブ住宅株式会社

📖 **取材相手:**

常務取締役 中村優子さん

📖 **仕事内容:**

建設全般・建設全般・工木全般・設計業務全体の
管理・広告作りなどの宣伝業務



ロールモデルインタビュー（共愛学園前橋国際大学）

📖 印象に残った回答

Q. 仕事と生活を両立する上で職場の方がサポートしてくれたというエピソードはありますか？

A. 職場で仕事ができなくても、家で仕事ができるような環境を作ってくれた。

Q. 仕事と生活の両立にあたって工夫していることはありますか？

A. 周りに頼れるところは頼り、手を抜くところは抜くこと。そして、毎日前もって予定をしっかりと立て、段取りを頭の中でしておくこと。

ロールモデルインタビュー（共愛学園前橋国際大学）

まとめ

創立者の“家庭を大切に”という理念のもと、社員一人一人が支え合い、休暇などもとりやすくすることで、ワークライフバランスが保たれるようになっていた。

感想

働きやすい環境というのは、男女平等に働くことのできる環境だと考えていたが、働きやすい環境というのは女性が自分らしく働くことのできる場であるということも学んだ。これから就職活動に取り組むにあたって、私たちも自分らしく働くことができるよう頑張りたい。

ロールモデルインタビュー(高崎経済大学)

📁 **訪問先**: 東日本旅客鉄道株式会社 高崎支社

📁 **取材相手**:

栗原洋子さん

📁 **仕事内容**:

総務部サービス品質改革室



ロールモデルインタビュー（高崎経済大学）

📖 印象に残った回答

Q. 御社に女性が仕事をしやすい制度は整えられていますか。

A. 「短日数勤務」という制度があります。定められた休みの他に月4日間休みをとることができるので、子育てや家事との両立をしやすい制度であると言えます。

Q. 仕事と生活をする上で、他の社員の方がサポートしてくれた経験はありますか。

A. 車掌を務めていたころ、子どもの急病の連絡が無線で入ったのですが、すぐに他の車掌に交代してもらい、私自身が帰宅できるよう手配をしてくれました。

ロールモデルインタビュー (高崎経済大学)

まとめ

介護や結婚、育児に関する休暇制度についてまとめた「両立支援ガイドブック」というガイドブックが存在し、独自の制度を整えている。また、休暇を取った際の他の社員の手配が迅速である。

感想

子育てや育児だけでなく、自分の都合に合わせて休暇をとれる点や海外留学などの研修制度がある点に良さを感じた。



ロールモデルインタビュー（高崎経済大学）

📖 **訪問先**：第一生命保険株式会社 群馬支社

📖 **取材相手**：

野田 光広さん 角田 久美子さん

戸屋 春香さん 江口 友紀さん 高田 照子さん

📖 **仕事内容**：

お客様に、生命保険の提供を中心に地域への貢献を行っている。



ロールモデルインタビュー (高崎経済大学)

📖 印象に残った回答

Q. 仕事と家庭の両立に当たって工夫していることはありますか？

A. 家庭内ではパートナーと家事の役割分担をしています。また、一日をタイムスケジュール化することで効率的に仕事と家庭を両立できるよう工夫しています。

Q. 出産や育児で仕事を続けられないと感じたことはありますか？

A. ありません。周りの人の力を貸してもらいながら仕事を続けました。子供には仕事をしている自分の背中を見て育ってほしいと思っています。



ロールモデルインタビュー(高崎経済大学)

まとめ

子育て支援の制度整備も大切であるが、社員・家族などの周囲のサポートも大切

感想

子育て支援や長期休暇制度などをはじめとする様々な制度を活用しワークライフバランスを高める取り組みを実施している方々にお話を伺い、周囲のサポートが必要だと強く感じ、自分自身これからどのように支えていくか、また支えてもらうかを考える契機となった。



学生からの提言

制度について情報交換・提供の場を作る



社員一人ひとりの理解を深める



より良いワークライフバランス

職場の雰囲気づくり